

製品名: アレスチン- β -1 (リン酸化 Ser412) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab04262

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	ARRB1
別名	ARRB1; ARR1; Beta-arrestin-1; Arrestin beta-1
遺伝子 ID	408.0
SwissProt ID	P49407
免疫原	抗血清は、ヒトアレスチン 1 の Ser412 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 369-418

背景

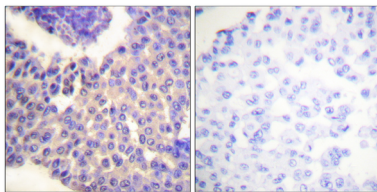
アレスチン/ β -アレスチンタンパク質ファミリーのメンバーは、G タンパク質共役受容体のアゴニストによる脱感作に関与し、ホルモ

ン、神経伝達物質、感覚信号などの刺激に対する細胞応答を特異的に抑制すると考えられています。アレスチン $\beta 1$ は細胞質タンパク質であり、 β アドレナリン受容体キナーゼ (BARK) による β アドレナリン受容体の脱感作における補因子として機能します。中枢神経系に加えて、末梢血白血球にも高レベルで発現していることから、BARK/ β -アレスチン系は受容体を介した免疫機能の調節において重要な役割を果たしていると考えられています。アレスチン $\beta 1$ の異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写産物が報告されています。[RefSeq 提供、2011年1月]、機能: β アドレナリン受容体の機能を制御する。ベータアレスチンはリン酸化ベータアドレナリン受容体に結合し、G(S)タンパク質を活性化する能力を著しく低下させると考えられています。、オンライン情報:アレスチンエントリ、類似性:アレスチンファミリーに属します。、

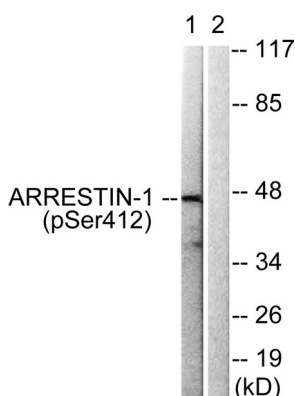
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;ケモカイン;エンドサイトーシス;

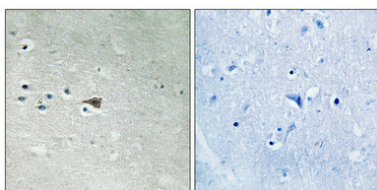
画像データ



アレスチン 1 (リン酸化 Ser412) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



エトポシド 25 μ M 60%処理した COS7 細胞ライセートのアレスチン 1 (リン酸化 Ser412) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4 $^{\circ}$ C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。